



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 5 月 30 日(土)
お猿のかごや 編

昨年に引き続き、今年もコーラスを愛する市民グループ「楽しく歌おう『お猿のかごや』実行委員会主催の歌の集いが開催されました。

このグループには「すみれ会」メンバーの本庄龍子さんが所属し、会場となる日吉神社の「長床」受付で満面の笑みで出迎えて下さり、すみれ会の熟女・小柴ナツさん、照井タイさんと一緒に参加しました。

日吉神社は能代の鎮守の神様として知られ「猿」が神の遣いであると伝えられております。「中の猿」行事の嫁見まつり、7月26日の夏祭り(丁山)、8月6日の役七タともに神社の祭りごととして伝承されています。

最初にテーマソングの「お猿のかごや」の合唱から始まり、花・牧場の朝・こいのぼり・富士山などお馴染みの15曲を歌いました。中でも、リクエストのあった「となり組」の歌詞には現代に必要とされる共助の大切さが歌われ、関心しました。「とん とん とんからりんと隣組 地震や雷 火事 どろぼう 互いに役立つ 用心棒 助けられたり 助けたり」(^_^)。第4回目は今秋を予定されているとのこと、たまにはみんなで大きな声を出して歌ってみませんか。

受付では、歌詞と一緒に6月21日(日)から始まるNPO法人常盤ときめき隊の朝市チラシが配られ、参加者にPR。沢山の方がお出で下さいますように…。歌の集いが終了すると、入口にときめき隊によるオーニソガラムの直売が行なわれ、純白な花の姿に「綺麗ね～」とため息が漏れていました。

オーニソガラム・シルソイデスはユリ科の秋植え球根で、別名「ベツレヘムの星」と言います。花言葉は「純粋・純潔・無垢」で純粋なときめき隊の皆さんにピッタリなお花です。自家用車にも大きなポスターを張り、懸命な姿に心打たれます。 たった1時間の集いでしたが、新緑が眩しい清々しいひと時でした。

文： 能登 祐子

